

(臨床研究に関する公開情報)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で検体や情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 大腿骨頸部骨折患者の食事摂取量と術後歩行訓練進行の関係

【研究責任者】 リハビリテーション科 渡部星羅

【研究の背景】

大腿骨頸部骨折患者において、入院中に食事摂取量が減少し、それに伴い日常生活動作能力の向上に難渋する方がいらっしゃいます。

本研究では、大腿骨頸部骨折患者の食事摂取量と歩行訓練進行、および血液データ・CT画像データの関係性を調査します。もし食事摂取量と歩行訓練進行の関係があれば、事前に治療が難渋する恐れがある患者に対して早期から栄養アプローチを含んだリハビリテーションの介入が可能となり、身体機能改善の一助にできるのではないかと考えております。

【研究の目的】

大腿骨頸部骨折患者の食事摂取量と術後歩行訓練進行の関係を明らかにすること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

大腿骨頸部骨折の患者さんで、西暦 2019 年 4 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 31 日の間に当院で手術を受けた方

●研究期間：研究承認日から西暦 2022 年 3 月 31 日

●利用する試料・情報

カルテ情報：

診断名、食事摂取量、手術から歩行訓練開始までの日数、在院日数、受傷前歩行自立度、退院時歩行自立度、年齢、性別、身長、体重、BMI、血液検査、大腰筋断面積

【研究組織】

この研究は、当院のみで実施されます。

【試料・情報の管理】

試料・情報は、当院のみで利用します。

この研究に関わって収集される試料・情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

収集した試料・情報は、解析する前に氏名等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを仮名化といいます）。仮名化した試料・情報はロック付きの USB で、識別符号と被験者の対応表は鍵のかかる引き出しで、それぞれ厳重に保管します。学会発表後、データは USB から削除

し、対応表はシュレッターで処分いたします。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報が明らかに  
ならないようにした上で公表します。

【問い合わせ先】

国立病院機構埼玉病院

リハビリテーション科 渡部 星羅

電話 048-462-1101